

vol. 1
2009

けんこう こうふく
健口から口福を応援する

加藤歯科医院 NEWS



私たちは、お口の健康づくりを通して皆様のよりよい生活づくりを応援します。

発行：加藤歯科医院
<http://kato.dental-net.jp>
春日井市乙輪町 3-50-1
TEL：0568-84-2333

お口のケアでインフル予防

最新インフルエンザ対策

今年、新型インフルエンザの話題が世間を席卷しています。弱毒性とみられているものの、感染力が強く、夏場になっても感染者は増え続けています。秋以降、大流行の兆しです。ワクチンの製造は遅れ、数も足りないばかりか変異による耐性ウィルス^①出現の可能性すらあります。

自分でできる予防としては、従来からいわれている手洗い、うがい、マスク着用などが挙げられますが、最近、意外な予防法が話題になっています。それは、正しい歯磨きと専門家による歯のお掃除（口腔ケア）です。

2月にNHKの人気番組「ためしてガッテン」で取り上げられ話題になりましたのでご存知の方も多いことでしょう。

厚生労働省の事業で「口腔ケアとインフルエンザの発症率」という調査が行われ、東京の2ヶ所の介護保険施設で半年間調査をした結果、発症率を10分の1に減らすことができたのです。

行われたことは、ケアの専門家である歯科衛生士たち

による歯垢や歯石などの徹底的な除去と、さらに家族や介護者への徹底的な正しい歯磨きの指導でした。



ではなぜ口の中をきれいにしておく、インフルエンザにかかりにくくなるのでしょうか？

鼻からのどにかけての粘膜はタンパク質の膜で覆われているため、ウィルスはなかなかくっつくことができません。ところが口の中の細菌が出す「プロテアーゼ」という酵素が膜を破壊することで、ウィルスがくっつき、細胞内に侵入できるようになると考えられるのです。ケア開始から半年後、口の中を調べると細菌数が減り細菌性の酵素活性の低下が確認されました。

この施設では、以降も口腔ケアに力を入れて取り組み、3年経っても感染者は出ていないとのことでした。

今後、大規模調査による、さらなる検証が行なわれることが期待されます。

口の中にはインフルエンザウィルスの感染を助ける細菌以外にも、唾液に混じって気道に入り重症の肺炎を引き起こす細菌なども多く住み着いています。

そのため、日頃から口の中をきれいに保ち、定期ケアを受けることが、危険な感染症を予防する対策として有効なのです。



退職スタッフのお知らせ



長らく勤務していただいております赤池歯科衛生士が8月末日をもちまして退職いたします。

『この度、私、赤池は加藤歯科医院を退職することになりました。多くの患者様に支えられ、ここまでこられたことに感謝いたします。長い間ありがとうございました。』

退職は残念ですが、これからも元気で頑張ってほしいと思います。

なお、定期ケアに来院されている方など、担当の歯科衛生士が交代することがありますので、何卒ご了承お願いいたします。

加藤歯科医院 news 創刊

私たちは、皆様に知っていただきたい「歯」に関する知識や、新しい医院の「情報」などを、この医院新聞を通してお伝えしていきたいと思っています。

今後、定期的に発刊していく予定です。皆様のご意見、ご感想をぜひお聞かせください。

